

**第6回屈斜路湖オープンウォータースイミング大会
北海道選手権水泳競技大会オープンウォータースイミング競技
スタッフ・マニュアル（二次要項）**

(一財)北海道水泳連盟OWS競技委員会

I 大会日程

1 開催日	令和6年8月23日（土）・24日（日）	
2 開催場所	川上郡弟子屈町屈斜路ウォータースポーツ交流公園特設会場	
3 日程等	※別資料「大会日程表」参照	
(1) <u>8月23日（土）</u>		
指定競技役員受付	10：30～11：00	
会場設営	11：00～	
主任会議（本部テント）	11：00～	
前日受付	12：00～14：00	
練習会受付	12：30～14：00	
競技役員・救助員配置	12：45～14：30	
練習会	13：00～14：30	
代表者会議・競技説明会	14：30～15：00	
会場設営	15：00～	
解散	16：30（予定）	
(2) <u>8月24日（日）</u>	※男女別競技女子は、男子の2分後にスタートする。	
競技役員受付	6：30～7：00	
係別打合せ	7：00	
会場設営	7：00～	
選手受付（全種目）	7：15～7：45	
主催者注意	7：45～8：00	
競技役員一部配置	7：50～	
ウォーミングアップ（全種目）	8：00～9：00	
競技役員配置	8：25	
500m・1Km 選手招集	8：30～8：50	
500m・1Km 男子競技開始	9：00～9：25	※同時スタート
2.5Km・5km 選手招集	9：30～9：50	
コース整備	9：30～9：55	
2.5Km・5km 男子競技開始	10：00～13：00	※同時スタート
2.5Km	10：00～11：30	（競技時間）
5km	10：00～12：30	（競技時間）
リレー受付	10：00～10：30	
リレー 選手招集	12：00～12：20	
リレー 競技開始	12：30～12：45	
競技終了	12：45	
撤収作業	12：50～	
解散	14：00（予定）	

4 連絡事項

- 参加競技役員は、本スタッフ・マニュアル及び「OWS競技規則2024-4-1」を熟読し、内容を把握すること。※OWS競技規則は、日本水泳連盟ホームページ等からダウンロードする。
- 競技役員は、原則としてオフィシャルユニフォームを着用（ネームプレート含）する。靴についても、任務に応じた物とする。ただし、華美な装飾品の着用は禁止とする。
- 競技役員受付にて、「競技役員手帳」を提出し、プログラム等を受取ります。また、主任及び指定役員は、職種別帽子（色分け）と無線機（指定者）を貸与します。貸与品は、競技終了後に受付に返還して下さい。※別資料の「備品貸与一覧表」参照
- 任務（ゴール受付・スタートゴール担当等）に応じ、水着・ウェットスーツ等の着用を可としますが、必ず水泳連盟の帽子を着用すること。
- バイダー、筆記用具等は各自で用意すること。また、各審判員及び主任は、ホイッスル（笛）を持参すること。
- 審判長及び審判員は、遠くを確認できる双眼鏡を持参すること。
- 自然の中での大会です。必ず雨具の準備すること。任務中の傘の使用は禁止とする。
- 有資格の競技役員には、日当をお支払いします。※必ず印鑑をご持参ください。

- (9) 指定競技員は、資料「参加予定表」を参照下さい。なお、8月23日・24日の昼食は準備しています。
- (10) 宿泊を希望されている方の宿泊先について
 - ① 『ホテルパークウェイ』 上川郡弟子屈町川湯温泉駅前 3-2-10 ☎ 015-483-2616
 - ② アメニティセット(タオル・洗面用具等)は、各自で用意して下さい。
- (11) 大会に関する問合せ、および突然の事情により欠席される場合は、携帯かメールにて担当まで連絡下さい。
担当：和田善治 携帯：090-6696-5725 male : ywada1950@au.com

II 練習会及び代表者会議兼競技説明会について * 大会前日 8月23日 実施

- (1) 練習会
 - ① 受付時間 11時30分～13時30分
 - ② 受付場所 湖水入口(桟橋付近、受付用テント)
 - ③ 練習時間 12時00分～14時00分
 - ④ 練習は、湖岸に沿って200mの直線コースとして、『ラップゲート』及び『ゴールタッチ板』とする。
- (2) 代者会兼説明会
 - ① 開始時間 14時20分
 - ② 場所 中央広場(芝生席)

※ 必ず出席すること。やむを得ず欠席する場合は、代理人(連絡担当者)を出席させる。

III 競技について

1 競技種目

- (1) 個人種目

500m (男・女)	「一般の部」、「中学生の部」、「小学生の部」
1Km (男・女)	「一般の部」、「高校生の部」、「中学生の部」
2.5km (男・女)	「14歳以上の部」
5 km (男・女)	「14歳以上の部」 「日本選手権トライアルの部」 「北海道選手権OWS競技の部」
- (2) 団体種目 300mリレー
- (3) 参加資格等
 - ① 共通事項
 - ア 参加種目の距離を、制限時間内で完泳出来る泳力があり、定期的に水泳練習を行っている心身ともに健康な人であること。
 - イ 既往症(内臓疾患・心臓疾患・呼吸器疾患等)のある人は出場出来ません。また、大会実行委員会が不適当と認める人の出場もできない。
 - ウ 選手の健康を考え、前泊することを条件とする。ただし、近隣市町村で試合前に十分睡眠が確保される場合は、前泊条件にあたらない。
 - エ 18歳未満は、保護者直筆の日付、署名入りの参加同意書を提出すること。
 - ② 『日本選手権大会トライアル』『北海道選手権』の参加者は、**公式競技会水着規定、ウェットスーツ着用規定を遵守すること。** ウェットスーツの着用は下記の通りとする。

※ 18°C未満=着用義務、18°C以上=着用禁止

2 競技方法

- (1) 今大会は、(公財)日本水泳連盟OWS競技規則を原則とし、一部ローカル・ルールを適用する。
- (2) 今大会のウェットスーツの着用は自由とするが、『日本選手権トライアルの部』及び『北海道選手権OWS競技』参加者の水着(男女共)は、『公式競技会水着規定、ウェットスーツの着用規定』を遵守すること。
- (3) 競技は、フリースタイルで行われ、競技者は定められたコースを完泳しなければならない。
- (4) 競技者は、競技中に底に立っても失格にならないが、歩いたり、ジャンプしたりしてはならない。
- (5) 競技者は、スピード、持久力、浮力を高めるような装置を使用もしくは着用してはならない水着、ゴーグル、2枚以下のキャップ、ノーズグリップおよび耳栓の使用は可とする。なお、1枚目(外側)のキャップは指定キャップとする。
- (6) 男子競技および女子競技は同時にスタートできるが、すべての点において両競技は別々の種目として取り扱われる。

- (7) 失格処分までの手続
審判長、審判員により、競技者が規則違反や故意の接触により利点を得ていると判断された場合は以下の手続きが適用される。
- 1回目の反則：イエローフラッグと当該競技者の番号を記したカードを提示して、違反行為を警告する。
- 2回目の反則：レッドフラッグと当該競技者の番号を記したカードを提示して、2回目の違反行為であることを知らせ、当該競技者は失格となる。
- (8) 制限時間以内にフィニッシュできなかった競技者は退水処分になるが、審判長が認めた場合に限りそのままフィニッシュまで泳ぎ続けても構わない。ただし、その場合は記録や順位は残らない。
- (9) 制限時間
500m - 15分、1km - 25分、2.5km - 1時間20分、5km - 2時間20分
- (10) 全ての競技者はチップ（マイクロチップ入りのトランスポンダー）を、レース中は両手首に装着しなければならない。チップを1つも装着していない状態でフィニッシュした場合は失格となる。

3 スタート ※「屈斜路湖OWSコース図参照」

- (1) 各種目共通
- ① 競技開始10分前には、スタート付近の湖岸に番号順に整列し、審判長の合図で水に入スタート場所に移動する。
- ② スタート位置は、湖面に直線に張ったロープで、スタートラインとする。
- ③ 位置に着いたら、進行方向に向いてロープを背に付けて並び、スタートの合図を待つ。
※ スタート合図より早く出ると失格となる。
- ④ リレー種目を除き、女子は男子の2分後にスタートするので、男子のスタート後、男子と同様に並ぶ。
- (2) 合図は、『出発合図員』が行う。
- ① 音は、「エアホーン」で行う。
- ② やり直しは行なわない。
- (3) 400m競技
- ① 「ラップゲート」の前に張ったスタートロープに背を付けて並ぶ。
- ② 大会本部から向かって右側にスタートする。
- (4) 800m、1Km、5Km競技(一般・日本選手権トライアル・北海道選手権の部)
- ① スタートは、「ラップゲート」の沖側で、大会本部から向かって左側にスタートする。
- ② 5Kmの競技等で参加者が多い場合は、「日本選手権トライアルの部」の選手を最前に複数列に並べる。
- (5) 2.5Kmのスタート位置は、第4ターンブイで、ブイから湖岸に張ったスタートロープに背を付けて並び、大会本部から向かって右側にスタートする。

4 ゴール (各種目共通) ※「屈斜路湖OWS会場図参照」

- (1) 最後にゴールレーンに入り、ゴールタッチ板の下部を「タッチ」して、ゴールとする。
- (2) タッチの手は、左右どちらでも良い。
- (3) 空振りの場合は、戻ってタッチしなければゴールとならない。
- (4) 立ち止まってのタッチや、歩いて戻ってのタッチは認めますが、他の選手の妨害をしないようにすること。
- (5) ゴール後、『記録テント』に行き、チップ返却し、自分のADカードを受け取る。ただし、
リレー競技に出場する選手（第3泳者）は、チップを返納しない。

5 各競技種目の説明 ※「屈斜路湖OWSコース図参照」

- (1) 500m競技
- ① スタートは、第1ターンブイとする。
- ② 大会本部から向かって左側にスタートし、ラップゲートを目指して泳ぐ。
- ③ ラップゲートの下を通過し、第2ターンブイを右にUターンするように回って、第1ターンブイまで泳ぎ。
- ④ 第1ターンブイを過ぎてから右に回り、ゴールレーンに入りゴールタッチ板にタッチして

ゴールとする。

(2) **1 km競技**

- ① スタートは、第2ターンブイとする。
- ② 大会本部から向かって右側にスタートし、第1ターンブイを目指して泳ぐ。
- ③ 第1ターンブイを右にUターンするように回って、第2ターンブイを目指して泳ぐ。
- ④ ラップゲートの下を通過後、第2→第3→第4→第1と各ターンブイの左側を泳いで外周を一周する。
- ⑤ 第1ターンブイを過ぎてから ゴールレーンに入り、ゴールタッチ板にタッチしてゴールとする。

(3) **2.5km競技**

- ① スタートは、ラップゲートの下とする。
- ② 大会本部から向かって左側にスタートし、第2ターンブイを目指して泳ぐ。
- ③ 第2ターンブイを右にUターンするように回って、第1ターンブイを目指して泳ぐ。
- ④ 第1ターンブイを右にUターンするように回って、第2→第3→第4→第1と各ターンブイの左側を泳いで外周を『三周』します。 ※ 300m + 2.1km (700m × 3) + 100m = **2.5km**
- ⑤ 最終周に入る先頭選手には、振鈴による合図を行う。 ※ 第1ターンブイ。
- ⑥ 毎回必ず、ラップゲートの下を通過すること。
- ⑦ 最後に、第1ターンブイを過ぎてから ゴールレーンに入り、ゴールタッチ板にタッチしてゴールとする。

(4) **5km競技**

- ① スタートは、第1ターンブイとする。
- ② 参加者が多い場合は、「日本選手権トライアルの部」の選手を最前列とし複数列で並ぶ。
- ③ スタート後、第2ターンブイを目指して泳ぎ、ラップゲートの下を通過後、第2→第3→第4→第1と各ターンブイの左側を泳いで外周を『7周』する。 ※ 1周 = 700m
- ④ 毎回必ずラップゲートの下を通過すること。 ※ 4.9km (700m × 7周) + 100m = **5km**
- ⑤ 最終周に入る先頭選手には、振鈴による合図を行います。 ※ 第1ターンブイ。
- ⑥ 最後に、第1ターンブイを過ぎてからゴールレーンに入り、ゴールタッチ板にタッチしてゴールとする。

(5) **300mリレー**

- ① リレーチーム3名で編成する（男女、クラス区分無し）。
- ② 招集受付の際は、全員の「ADカード」が必要です。
- ③ 第3泳者は、「チップ」が必要です。
※ 前の競技で、ADカードと「チップ」計測バンドは返納しないこと。
- ④ 競技について
 - ア 第1泳者のスタート位置は、第2ターンブイとする。
 - イ 第1泳者はスタート後、ラップゲートまで100m泳ぎ、第2泳者に引継ぐ。
 - ウ 第2泳者は、第1ターンブイまで100m泳ぎ、第3泳者に引継ぐ。
 - エ 第3泳者は、ゴールレーンに入り、ゴールタッチ板まで100m泳ぎゴールする。
 - オ 引継は、前泳者が次泳者の身体（手、肩、背中等）にタッチして行う。
 - カ 引継後について
引継を終わった選手は、後続の泳者の妨害にならないようにコースから外れて、スタートした場所に戻る。最終泳者は、ゴール後そのまま陸上に退水する。
 - キ 目標タイムは『5分』とする。
 - ク 順位は、ゴールタイムが『目標タイムに近い順』とする。
例：1位→5分00秒、2位→4分58秒、3位→5分05秒

6 招集

(1) 各種目共通

- ① 招集は、種目・時間別に「招集用テント」で行う。必ず選手本人が行うこと。
代理は認めない。特別の事情がある場合は、事前に「大会本部」に申し出て『承認』を得ること。

- ② 大会プログラムの『招集時間』は、あくまでも目安です。変更等がある場合は、場内放送により周知するので、放送等に注意する。また、ご不明の点があれば近くの役員に質問すること。
- (2) 招集は、その種目の競技開始30分前から行う。※ADカードを忘れないこと。
- ① まず、招集所でADカードを預ける。
 - ② チップを受け取り（2個、ADカードと同じ番号）、両手首に付ける。たるみ等がある場合はビニールテープで固定する。
 - ③ チップ・スイムキャップを見て、装着状況と番号の確認を行う。以上の物を紛失した場合は、競技に出られないこともある。大事に管理してもらうこと。
 - ④ 全員準備ができたらスタート位置湖岸に番号順に誘導し整列させる。※この時、装着状況確認と禁止装着品（腕時計等）再確認すること。
- (3) 荷物は一切預からない。帯同・付添コーチに預けるか自己責任で保管してもらうこと。
- (4) その他（負傷事故防止の為）
- ① 手足の爪の長さを整えてください。
 - ② 腕時計の装着禁止とする。また、装飾品（ジュエリー、ピアス類）の装着を禁止する。
- (5) リレー種目の招集は、3人揃ってから行うこと。
- ① 全員のADカードを預る。
 - ② 第3泳者のチップの装着状況を確認する。（2個、ADカードと同じ番号）
 - ③ 全員の「スイミングキャップ」と「両肩」の番号の確認を受けてください。
 - ④ 全員準備ができたら、第1・第2・第3泳者のそれぞれスタート位置湖岸に誘導し整列させる。※この時、装着状況確認をすること。

7 ウォーミングアップ（各種目共通）

- (1) 大会当日のウォーミングアップは、朝8時00分～9時00分とする。
- ① 全競技コース（1周700m）を使用し、左回り（時計回り）に泳ぐ。
 - ② 会場の水温や水深・透明度・流れや波の状態・目標物等を体感することを目的とする。
- (2) 競技中のウォーミングアップおよびクールダウンは、「観戦エリア」の沖に設けられた『アップエリア』を利用して行うこと。『アップエリア』はコースロープ等で仕切られている。絶対に「競技エリア」には入らないこと。
- ※ 競技を妨害するような行為があった場合は、退場処分となる場合がある。
- (3) 着替えは、管理棟の更衣室か更衣用のテント（男女別）を利用すること。
- (4) 荷物は、帯同・付添コーチに預けるか自己責任で保管し、紛失や取違えのないように注意すること。履き物も同様。

8 日本選手権大会トライアルの部について

- (1) この大会結果で、『2026年度OWS日本選手権5kmの部』への出場権を取得するための競技です。
- (2) 男女各1～3位に『2026年度OWS日本選手権5kmの部』の出場権が付与される。ただし、3位以内であっても1位と15分以上の差があった場合は付与されない。
- (3) 日本水泳連盟の競技者登録完了者でなくとも出場できるが、参加資格を得た後、日本選手権に出場する場合には、出場年度の競技者登録が必要になります。
- (4) 2025年度の『日本水泳連盟、OWS強化指定選手』が、日本水泳連盟の強化事業として出場する場合はオープン選手扱いとし表彰及び日本選手権出場権付与も対象外となる。

9 表彰等

- (1) 表彰式は行わない。
- (2) 表彰係は、競技終了20分を目処に、賞状及び記念品を渡す。なお、贈呈後に記念撮影会を行うこと。
- ① 個人種目の部 ※ 各種目別・各部別・男女別の1～3位に贈呈
- | | | |
|-----------|--------------|--------------------|
| ・ 500m種目 | 一般・中学生・小学生の部 | 1～3位、男・女 各1名 |
| ・ 1km種目 | 一般・高校生・中学生の部 | 1～3位、男・女 各1名 |
| ・ 2.5km種目 | | 14歳以上 1～3位、男・女 各1名 |
| ・ 5km種目 | | 14歳以上 1～3位、男・女 各1名 |

- ・ 北海道選手権の部 14歳以上 1～3位、男・女 各1名
- ・ 日本選手権大会トライアルの部 14歳以上 1～3位、男・女 各1名

② リレー種目の部

目標時間に近い上位チームに記念品を贈呈します。

(3) 完泳者全員に完泳証を交付します。

① 競技終了後、記録が確定した時点で、完泳者全員に「完泳証」を贈る。

② 「完泳証」は、競技終了後20分を目処に 大会受付 で渡す。

③ 「完泳証」の郵送希望者は、大会受付に申出する。別途有料(1,000円)とする。

(4) 5kmの完泳者に、(公財)日本水泳連盟のサーキットポイントが付与される。

※ 詳細は、日水連ホームページにて各自確認。

10 受付 ※ 練習会参加受付、大会参加前日受付、大会参加受付を行う。

※ 大会役員及び競技役員の受付を行う。

【 8月23日(土)】

(1) 練習会参加受付

① 受付時間 11時30分～13時30分

② 受付場所 湖水入口(桟橋付近、受付用テント)

③ 練習時間 12時00分～14時00分

④ 受付係は、参加選手のADカードを預かり、練習終了後に本人に返却する。

持ち物(靴等含)は一切預からず自己管理してもらう。なお、更衣は、管理棟か更衣室とする。

(2) 大会参加前日受付

① 受付時間 12時00分～14時00分

② 受付場所 管理棟横(受付用テント)

③ 提出書類

ア 参加申込書 1通

イ 帯同者・支援者用ADカード申請書 1通

ウ 誓約書 1通

エ 健康問診票 1通

※ 看護師の問診を受け健康を確認する。

オ 保護者同意書(18歳未満) 1通

④ 配布物等

ア ADカード(選手用、支援者用)

名前と選手番号が記載されてる。當時首から下げ、外から見えるようする。

イ スイムキャップ

油性マジックインクを使用し、両側面に選手番号を記入し渡す。

ウ 大会プログラム

自分の名前、区分(一般・高校生・中学生・小学生)、種目(500m・1km・2.5km・5km)を確認してもらうこと。間違・訂正等があれば訂正用紙に記入して提出してもらうこと。

エ 参加賞

※ 大会受付が「前日受付」で完了した場合は、「当日受付」の必要はない。

※ チップ(計測バンド)は、競技種目招集時に貸与します。

【 8月24日(日)】

(3) 大会参加受付(当日受付)

① 受付時間 7時15分～7時45分

② 受付場所 管理棟横(受付用テント)

※ 提出書類・配布物は、前日『大会参加前日受付』に同じ

※ 大会受付が「前日受付」で完了している場合は、「当日受付」の必要はありません。

※ チップ(計測バンド)は、競技種目招集時に貸与します。

11 禁止事項等

大会期間中し、以下の事項に該当する場合は会場への入場をお断り致する。また、退場して頂く場合がある。

- (1) 会場内は『全面禁煙』とする。大会関係者(選手、帯同・付添コーチ、競技役員、大会役員等)及び一般来場者等全員が対象です。
- (2) 会場内では、常に「係(色)別ADカード」を首から下げて行動こと。対象者は、競技中の選手を除く大会関係者全員です。
- (3) 大会期間中は、選手が競技に参加する場合を除き、入水禁止場所への入水を禁止とする。『競技エリア』への入場は、大会関係者(選手、帯同・付添コーチ、競技役員等)のみとする。また、一般来場客は、湖畔に『観戦エリア』を設けているので入水可能とする。
- (4) 選手は、自分の競技終了後は、速やかに『競技エリア』から退場すること。
- (5) 主催者、施設管理者が定めた、措置・指示に従うこと。
- (6) マスクの着用は「個人の判断」に委ねるが、感染防止の為十分配意をお願いする。

12 その他

- (1) 会場の『屈斜路ウォータースポーツ交流公園』は、事故等を防止するため『入水禁止』や『立入禁止』場所を設け、競技エリアを柵・ロープ等で明示しますので、絶対に立ち入らないこと。
- (2) このレースは、自然の中で行う競技のため、当日の天候や湖の状況によりコースや進行の時間が多少前後することがある。
- (3) 競技開始時間等は、あくまで参考時間です。招集時間には余裕を持って来場すること。
※天候や湖の状況により、競技が中止になる場合があります。
- (4) 競技に関する抗議は、そのレース終了後30分以内に文書で審判長に提出すること。その際抗議料5,000円を添えて受付に提出すること。抗議の内容を大会総務で検討し裁定する。また、抗議内容が認められた場合は抗議料が返金されるが、認められなかった場合は抗議料は返金されない。
- (5) **チップ(計測バンド)**を紛失した場合
 - ① 受付後、何らかの事情で競技に参加できなかつたときは、受付係に返却するか、下記の業者へ発払いで送付しなければなりません。

返却先：タイムハック株式会社

〒675-1336 兵庫県小野市下大部町776番地 TEL 0794-60-3137

- ② 紛失または破損で返却できなかつたときは、実費4,320円(税込み)を請求します。
- (6) **車を利用しての来場について**
会場は国立公園の一角にあり、駐車場スペースが限られています。車両による来場の際は相乗りする等のご協力を願い致します。また、会場係員の誘導指示に従ってください。
- (7) **会場への臨時バスの運行について**
 - 8月23日(練習会) 摩周駅 → 会場
川湯駅 → 会場
 - 8月24日(大会当日) ホテルパークウェイ→川湯観光ホテル→川湯支所→欣喜湯→会場
摩周駅→ホテル摩周→弟子屈ホテルMISATO→ペンションBirao→会場